

# 琉球大学学術リポジトリ

## 日米関係（沖縄返還） 14

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43789">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43789</a>

46  
8.18. 牛場大使  
日降経済政策委 事務局長と会談

( 部の内 号) 注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政(外)官  
務典房  
次官審長  
長官厚計  
総電厚計  
備書文會營給

参企折調  
参領旅査移

参地中東  
長北東西  
参北北保  
中南  
参西東洋  
長西東

近ア  
参書近ア  
経次総経国資  
長参貿統国万  
参政技二  
国一理  
参条協規  
参政経科  
長軍社專  
情参道内外  
長文長  
一二

総番号(TA) 71年8月18日 22時30分 米 周 主管  
71年8月19日 11時54分 本省 発着 米北

外務大臣殿 牛場 臨時代理大使 総領事 代理

ピーターソン国際経済政策委員会事務局長との会談

第2439号 極秘 至急  
往信経第7339号に関し

18日本使ピーターソン国際経済政策委員会事務局長と米の新経済政策、日米貿易経済合同委等につき会談したところ概要次の通り。(先方アレン、当方ヤマザキ同席)。

1. ピーターソンより次の通り述べた。

(1) 前回にも詳しくお話したとおり米国としては海外防衛支出や対外援助を大きく削減できぬ以上どうしても貿易収支で黒字を出す要があり、これが今回の措置のはい景となつた事情である。日本側ではこれらの措置をANTI-JAPANESEと解釈されるかも知れぬが、議会の承認を要しないこの措置が議会側で要求の強い輸入割当制よりもMUCH BETTERであることはお認めいただけると思う。

(2) 日米貿易経済合同委についての政府内部の打合せは今回のニクソン大統領の新経済政策の関係でおくれているが、来週早々サンクレメンテで行なわれる。そこで今日申

外務省

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

しあげることは全くの私見としておきき取り願いたい、自分は合同委において将来の国際収支につき日米夫々が自国の事情及び見通しを述べ合い、両国間に共通の目標を設定する。しかしてこれが実現のために両国高級官僚による常設委員会の如きものを設置し一切秘密りにひんぱんに会合して両国間の意思のそ通をはかるようなことが合意できないかと思う。これまでのように米国があか字の拡大になやむ一方、日本は数十億の外貨をため込み続けるといふのではフラストレーションがこうじて今回のような爆発的措置をとらざるを得なくなり日米関係が打撃を受ける結果となる。ニクソン大統領もこの点を大いに心配し何か日本の感情を和らげる措置を合同委の機会に考えるよう関係者に指令している次第である。

(3) 同時に自分は(ペル・アンド・ハウエルのセールスマンであつた経験からして)合同委のコミュニケが単なる官僚の作文ではなく、日米両国民特に日本国民にアピールするようなものになるようにしたいと思う。

(1) その一つはオキナワ問題である。日本側はこの問題は最早すんだものと思つているかも知れぬが、米議会傍の空気は決してよくない。そこで合同委の機会に米行政府が強力にオキナワ返かん協定の批准を推進することを声明するのは如何。

外務省

極秘

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(ロ) 次に援助についてアジアで日米共同で行うような大きなプロジェクトはないだろうか。

(ハ) 原子力平和利用及び宇宙開発の分野で日本が米国から希望することはないか。

(ニ) 公害問題における日米協力の可能性如何。。

2. よつて本使より合同委は今回の米新政策の結果益々重要となつたが、米側の配慮をこの上とも要請したいとして概ね次の通り私見を述べた。

(イ) オキナワ問題の困難性は日本側も十分認識しており、従つて米行政府がその批准促進を声明することは大いにアプリシエートされよう。

(ロ) 援助についての大プロジェクトは差当り考えつかないが、資源の共同開発の可能性あるやも知れずまた地味ではあるがアジア開銀への資金の供給がある。

(ハ) 原子力平和利用についてはもうウランの将来の供給につき日本側はアシェアランスがほしいかも知れぬ、また宇宙開発については米側より協力の招請あり目下検討中である。

(ニ) 公害問題についての日米技術協力の余地は大きいと思う。現に自動車については了解があり、また先般のヤマナカ、トレイン会談でも種々進展が見られた。

3. これに対しピーターソンは前言をくり返し、来週サン

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

クレメンテにおける会合で大統領に進言したいので、日本側に何か良い知恵があれば来る23日までにぜひ知らせてもらいたいと述べたので、本使より早速東京に連絡すべき旨述べておいた。

ついでは何分のぎ回電ありたい。

(了)